



令和5年度  
福島小学校だより

ふくしま

第6号 3月8日  
八女市立福島小学校  
校長 郷田 純一

## 6年生を送る会で感謝の気持ちを伝えました。

3月1日、6年生を送る会が行われ、各学年からの感謝の気持ちを伝える発表が行われました。各学年の発表では、感謝の言葉を入れた歌などが披露されました。6年生の存在の大きさを改めて実感することができました。発表している姿からは、1年生から5年生のこの1年間での大きな成長も感じられました。とても感動的な送る会にすることができました。特に5年生は、自分たちの発表のほかに送る会の運営も行ってくれました。会場に足を踏み入れた途端、体育館はピリッとした空気に包まれており、5年生のやる気がひしひしと伝わりました。福島小学校の最高学年としての覚悟の表れだと思いましたし、4月からの頑張りへの期待が大きくふくらむような働きぶりでした。

最後には、6年生からのお礼の気持ちを表す発表も披露されました。この1ヶ月間練習に取り組んできた合唱の発表でした。短期間で練習したとは思えないほどレベルの高い合唱でした。「さすが6年生」と改めて思いました。6年生の皆さんには、本当に感謝するばかりです。

## 第3回学校運営協議会が行われました。

2月29日には第3回学校運営協議会が行われました。学校から後期の取組や自己評価の結果、働き方改革の考え方の説明を行い、その後、説明に対する協議も行われました。

説明の主な内容は以下の通りです。

- ・子どもたちの学力や体力が徐々に向上している。挨拶もよくなっているので次年度も継続して取り組みたい。子どもたちの成長は、職員の頑張りに対する地域や保護者の皆様のご協力のおかげである。感謝している。
- ・学校の取組に無駄なものはないが、働き方改革を進めていかなければならない。新聞等にもあるように、小学校教員という職業が敬遠されている現状を打破するため、業務の効率化、行事の精選等を推進する必要がある。

また、協議内容の一部を紹介します。

- ・中学校でもよく本を読んでいる。中学生の平均読書冊数を大きく超えている。子どもたちの学力向上と読書量には相関があり、心の安定のためにも読書活動の充実には是非継続して取り組んでほしい。
- ・遅刻の多い児童に対する取組にはご苦労も多いと思うが、遅刻する児童の数が昨年度比14%減少するなど、大きな成果も現れてきており、今後も継続して進めてほしい。
- ・先生方の苦労は身近で見ていてわかっているつもりである。いい先生の確保は子どもたちにとっても重要であり、働き方改革を進めるに当たって、私たちが協力できるところがあれば協力していきたい。

ほんの一部をご紹介しましたが、励ましの言葉をいただきき気の引き締まる思いです。地域の皆様のお声を生かし、さらに向上してまいります。

## 3月12日の検査で校舎の外壁工事完了です！

長期間に及んだ外壁工事も3月12日予定の検査で終了です。事故もなく終えることができほっとしております。長期間にわたりご協力ありがとうございました。

## 年度初めの主な行事をお知らせします。

大きな行事のみお知らせしておきます。

- ・前期始業式 4月8日(月) ・入学式 4月10日(水) ・授業参観、PTA 総会等 4月20日(土)
- ・振替休日 4月22日(月) ・玄関訪問 4月26日(金)～2日(木) ・スポーツフェスタ 5月25日(土)